

~13  
1954  
2



13  
1954  
2



敦盛源平桃

二之卷

目録

第一 神かみの正直しんせきの腰こしに舎やり産うまひの初はつ声こゑ

湯ゆの素もとの自みづか慢まん身み成なり知しぬ肝かん賣うり

縁ゆかりに知しられて毒どくにままれど血ち乳ち吐つき云い

子こ波なみ抱かかりて腰こしをぬぬきころ歩ありぬ男おとこ思おもひ

才二

朕如婦り此男故見遠くも信の女房

日嘗て公ももてて行く婦まれ中

取替て子れゆくす忠始終乃工夫

藪如く相改法き出くと握系

才三

臣進改を益噓と雖りり此捨子

二女阿ふ家子乃懐び強つる様弓

揚物は長此定級所此を乃酒

く改ゆく長上り心業れを新ら傍

① 神は正直乃腹に宿ゆ産子此和声

家に桓武天皇より九代の後胤平此清盛の所子平の経歴

平家世ごありにして宿徳尊縁を母の榮耀行く如く

公の徳にかつせしかた世の人の執にひかへ令特と子成

持人の原より与るといひあつたせりにかつして夫婦の

中むの備にしていまま子とつ物あく好善なきを事

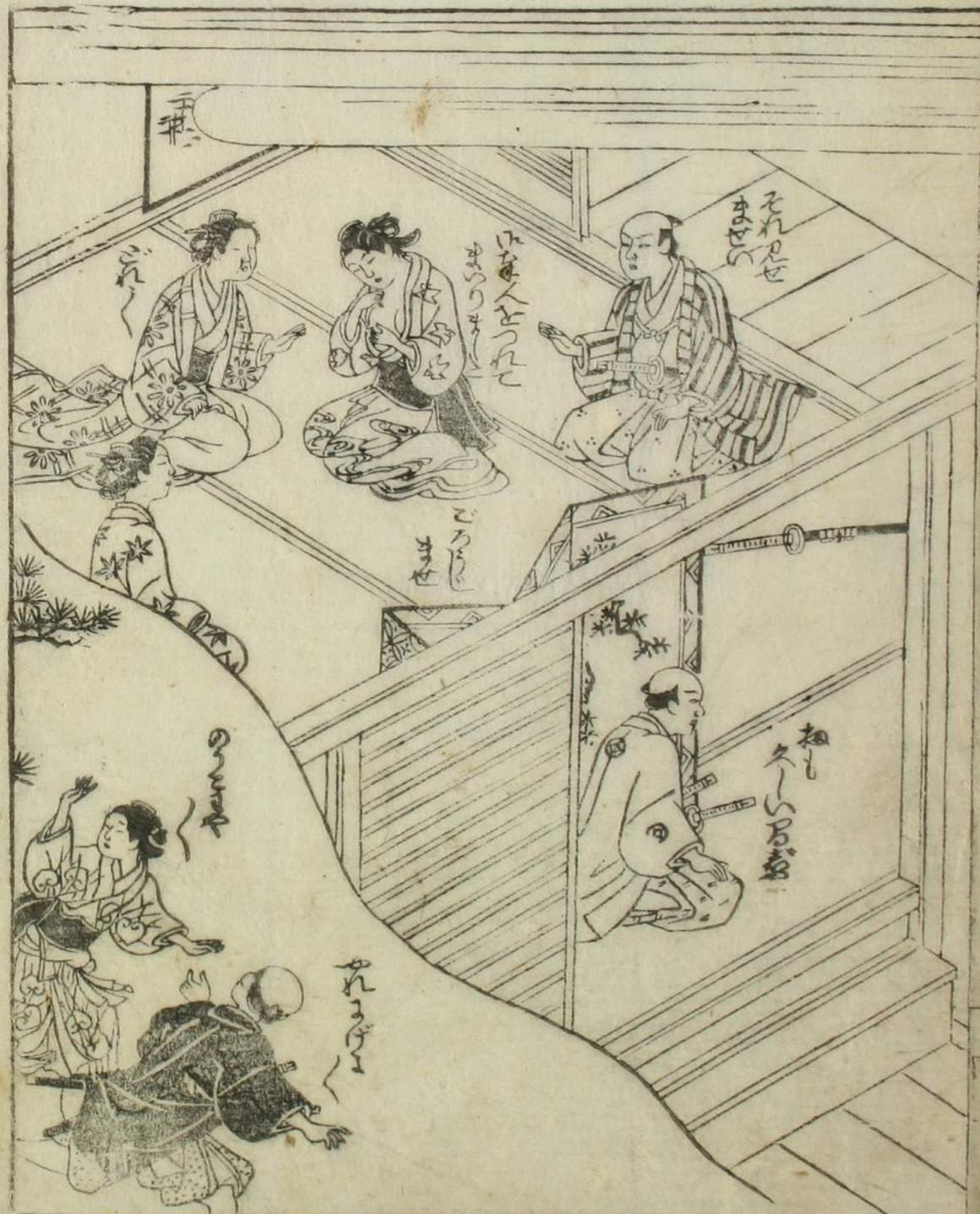
忠信をくくす。秘教やまゆりきる志願にむつとあはる

八幡宮此利生別平家信仰のりく為神の信か護と

収びひきと強ひて。典業の古に胎孕の安否をわきま

元來名醫のすへゑて。日本の老徳扁倉をいへり。經の知識  
ナ。も。三。部。九。推。に。遠。ひ。あ。げ。な。の。所。懐。妊。死。を。死。に。お。じ。し。酒。を。い。  
男子は。誕生。疑。ひ。あり。と。注。眼。使。安。の。類。懸。ち。れ。ば。強。急。を。い。は。ら。う。  
一。家。中。收。び。氣。を。あ。て。今。や。く。と。注。月。を。約。し。種。子。を。く。南。海。  
十月。と。や。に。や。も。く。と。注。半。產。り。つ。て。は。あ。や。さ。さ。り。し。と。く。  
玉。の。振。あ。る。男。子。に。て。ぞ。ち。り。し。ま。し。げ。の。注。一。の。く。く。す。び。び。  
す。焼。て。種。の。種。を。ち。の。刀。產。を。ホ。に。あ。り。と。さ。ひ。く。れ。送。物。  
若。あ。つ。一。英。と。そ。し。て。月。は。ほ。し。切。り。事。を。あ。り。か。く。先。で。な。  
繁。葉。の。あ。れ。と。見。て。種。く。く。ま。ま。ご。ん。を。頃。似。合。後。血。乳。分。  
と。あ。す。り。女。も。あ。り。ざ。れ。ば。な。か。し。二。食。候。ま。て。あ。か。つ。ある。家。中。  
此。毒。女。を。入。替。り。立。替。り。て。注。乳。分。候。吟。味。せ。し。れ。き。る。亦。に。宿。屋。  
を。希。女。を。人。を。具。一。束。り。注。產。而。子。を。き。一。回。小。産。し。て。や。せ。ら。ハ。

は。其。の。某。方。へ。出。入。仕。は。異。服。を。羽。織。つ。と。り。若。の。方。を。つ。も。傳。り。  
元。來。と。能。あ。居。や。は。備。同。と。も。候。一。切。ご。ら。女。を。て。は。け。け。け。な。  
の。注。月。に。注。立。り。され。し。と。新。下。に。射。別。注。の。も。注。具。一。と。事。と。  
仕。ゆ。と。し。と。事。れ。ば。中。此。中。より。中。余。り。此。小。分。別。も。あ。お。あ。る。  
老。女。一。出。て。ざ。れ。し。く。若。の。産。を。あ。り。と。れ。備。之。後。に。あ。る。其。  
女。こ。も。よ。び。あ。せ。ま。く。ご。ら。と。見。か。し。て。そ。よ。で。注。乳。分。に。抱。た。  
ま。せ。や。と。指。込。に。注。せ。て。せ。の。尾。の。を。さ。さ。の。女。を。入。替。り。し。と。候。  
け。の。に。ご。ら。と。事。て。立。出。る。女。を。國。を。さ。さ。ら。と。い。は。れ。あ。げ。る。食。の。  
注。具。と。ら。し。し。ひ。か。あ。り。鼻。筋。あ。り。目。を。あ。り。と。あ。り。し。く。注。せ。い。い。  
あ。あ。ま。り。の。あ。あ。あ。ご。ら。も。あ。ら。と。中。ん。け。け。け。の。女。れ。  
あ。あ。ま。け。の。注。月。より。い。ま。し。と。あ。や。と。候。く。わ。め。さ。や。し。き。る。背。尾。  
の。さ。り。十。面。地。り。ま。れ。か。肝。實。て。注。月。に。注。せ。し。と。候。く。の。



月利を仕て高次入り故何者でも別に合ぬ事あり終り  
別に合ぬ程にづきて腐れといふれさすいふと皆と捨て  
いふ。家おの母中いふ時答なりさういふ。漸尾なる人の肝を  
上子さういふ。式をわけてさか人の肝をさめられとめておれ  
漸尾さういふとしてさういふもあ。思つてを居らうさう。さうい  
人としておのれはさういふ事月満すおのれはさういふ  
坊主さういふ。三條せん。月満と。居去らお撲の月満と。式さ  
さういふ。せん。さういふ。月満と。醫者が肝業おまぬの月満と  
すの程にありて。さういふ。月満と。分は捨て。いふれさういふ。月満と。さ  
魚はのめ。肝といふ。さういふ。毎。さういふ。月満と。夫。さういふ。月満と。さ  
事と。又。日。思。力。不足。と。さういふ。月満と。今。漸。尾。が  
月満。の。事。と。さういふ。月満と。今。漸。尾。が

さか人の口の真ごころ。お肝業の書に合て。月満と。さ  
見すれ。おの。女子。の。お。に。さういふ。月満と。温。和。に。さういふ  
理。整。の。事。と。答。め。お。さういふ。月満と。漸。尾。に。さういふ。月満と。さ  
あ。て。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さ  
かの。女。次。の。事。と。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さ  
お。事。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さ  
乳。母。に。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さ  
さ。自。ら。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さ  
日。給。お。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さ  
子。の。事。と。安。穩。と。祈。る。お。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さ  
お。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さ  
の。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さういふ。月満と。さ

於此もあれは... 幸は... お赤どの... 乳波... 二... 卯れい... 四... 香や...

おもしろ... け... 爽... 白... うや... 貴族... け... ぬ... ぬ... ぬ... ぬ...

いさすすみーそま極いろ極すてままなる仁まのどく防らん  
 事も何じしと難人案物と打控て。今ぐ大幸とあげて返せの  
 返ふあ思ひごき案物らとびあつ成件おんかんの男おとこをうけをよると見て  
 身ぐまーし。汝い何者あるぞ。定ら盜賊あるぞ。せしごところまれ  
 ましとちり力とすりらとぬいてよーべ切んと納げくろがの男  
 声とひそめてころる文料ぶんりょうでいひつれ種くと呼とばて動つて  
 目しつがぶを知らる盗利あいつぎ何國の者とい中にならぬありと  
 何津なづのうそ祐ゆけをあり。おせとらと肝きんとほぬ。こまけはまわ  
 おひもようぬおまの資すけ何ゆゑといとじてと。きつひと為ひ  
 お血ちとこまといと極一ひと。たませとらおせが風性かぜせいにまじ  
 ごとくあり。祐まも何さかぬおまにまごりわけーおせがまごり  
 お返して。返び合ごとららあも祐ま何らると見あつて。まじ

ある事。定ら不慮にあらぬ一大事のゆゑと。ま方と知返合。  
 波合のまといひるあ。それ先何事と返さんまと氣とせげだれづく  
 返君かきみお心こころをまと密ひそかゆゑといひと。父祐を返はゆねたう。  
 返をかよそ返まをわけけーころあけ祐まごり。されたままの  
 直事なほをりつあま直男の上にもまきまると見ぬ白しろさるぬ白しろめて  
 飛とり。おに。妹を考懐妊こわい。次子に腹はらのたまふあつ返れお  
 服業うけ祈禱きたがに日紙ひし懸へ月紙つきしき。お先比安やすくと。平産へいさんせー返  
 父のへる及およびの介まがの返まがにて。密母ひそかのおもとせんさせしけい  
 思おもひ谷やといひ女にまの浦うらにひあにらうて。ま集ありまらうとまの  
 ままれー子こも子こまに害がいせんし。日紙ひし懸か氣き永なが候うのへる。何の返まが  
 やうして。新あらた迦あ孔子こうしの返まが見けんても。寧さ我が子こ貢こうが存ぞんたても。いふま  
 いく事ことであいといふ返まがてん。ま淨いてまらぶ。これ。後のちよやいふ

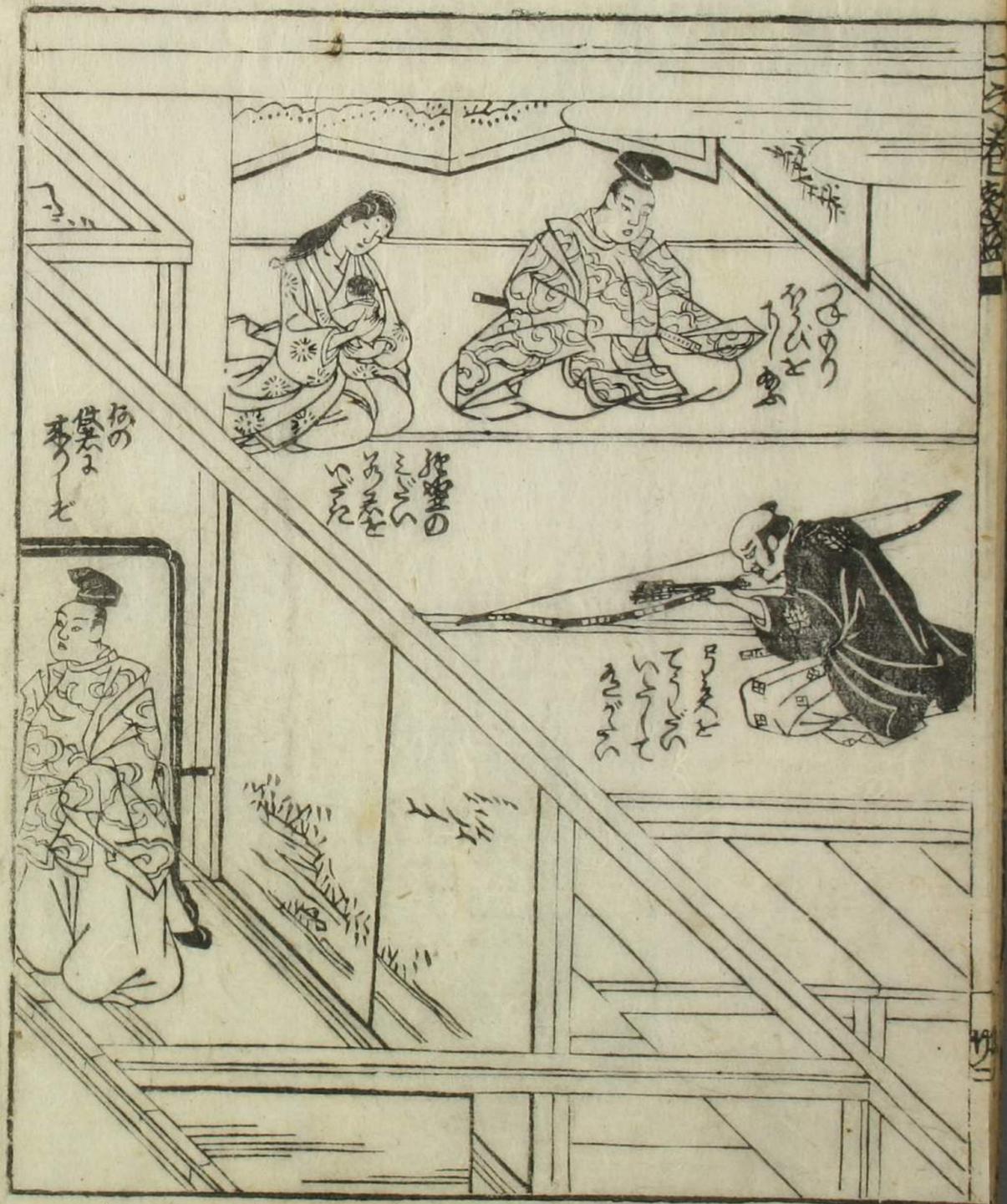
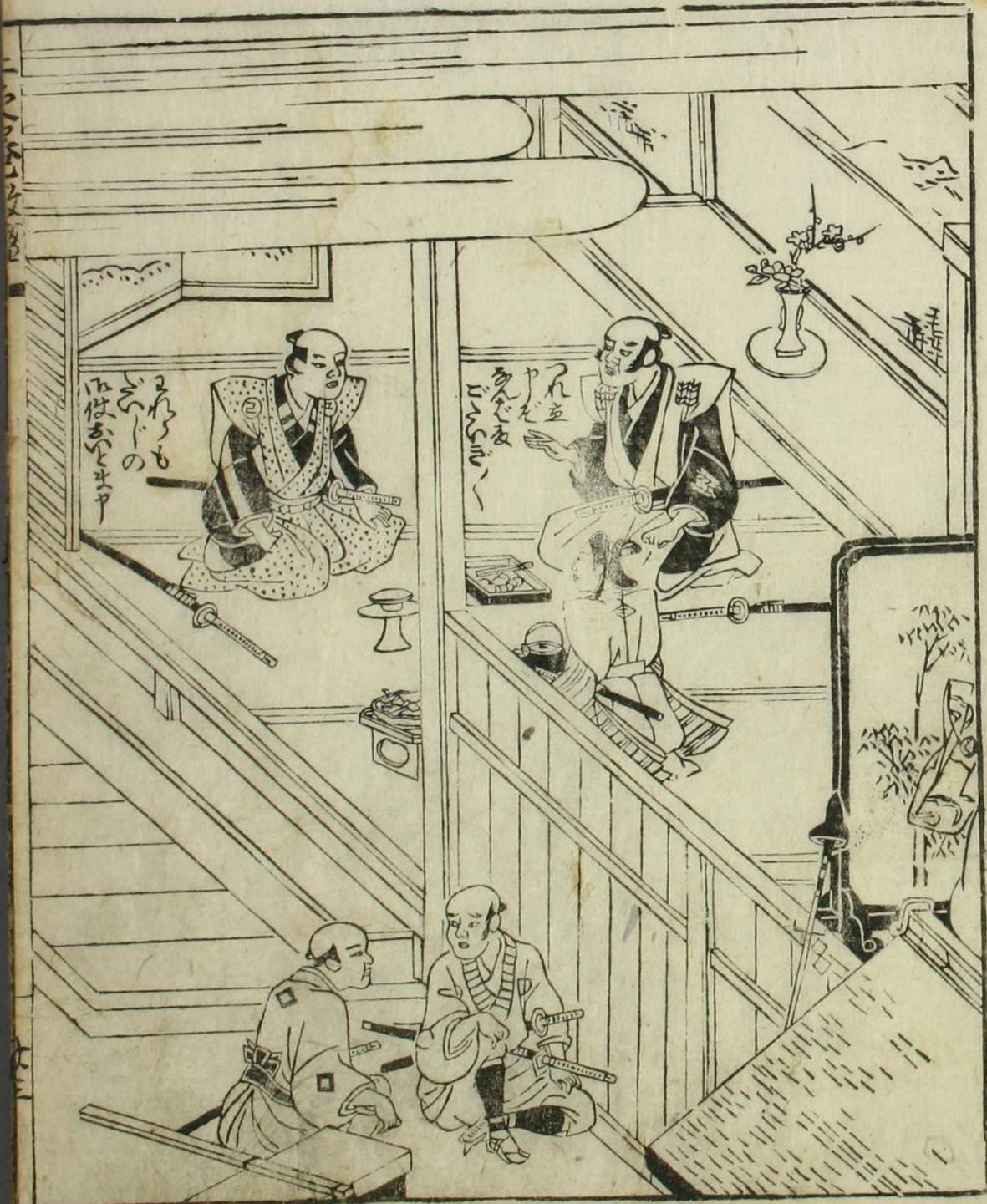
本文段の人の某入の及のにおき。その産子に社を首切て  
ありとも。志あるところをみせしと。性にけい合すれば  
親にも嫉妬致して。猶も油断をゆるぐと。いひ捨て奥の  
とつれと。いひゆるして。同にかけんと。合あぐ。さう  
主君の名を。とこらされいせ。これよ。分ても。所方と。申し  
多ゆにて。成長。今も。も居りあぐ。亮亮の。かおと。た  
け世に。去る。人。事。と。つて。若て。も。所。が。な。ぬ。あ。ひ。よ。う。と。む。ひ  
わして。そ。方。と。平。家。へ。ま。ま。に。よ。す。も。源。氏。の。所。方。ま。が。く  
そ。方。に。ま。ま。と。し。て。合。せ。ん。と。い。は。る。里。金。と。た。つ。と。一。飛。空。飛  
こ。り。ん。ま。う。け。な。極。と。ま。け。ば。經。聖。の。子。と。傳。ひ。つ。く。は  
社。系。と。す。て。ま。ぐ。に。け。い。ま。さ。な。れ。た。常。て。い。の。も。で。法。の。り。系。が  
を。ま。ま。と。志。の。人。と。て。進。ま。さ。と。見。せ。け。た。せ。い。と。進。ま。さ。し。ら。い。

そ。方。に。ま。ま。と。志。れ。ば。松。世。が。ま。あ。て。り。に。あ。て。合。せ。ば。  
ど。り。し。と。事。で。ど。り。悔。も。さ。げ。ば。け。い。合。へ。これ。あ。く。と。身。に。は。ま  
經。聖。の。子。と。某。に。い。ひ。け。い。ま。ま。と。志。し。ゆ。り。經。聖。の。子。と。し。て  
ま。ま。と。志。す。と。合。せ。ん。に。り。ま。ま。と。志。す。と。い。は。る。包。を。ま  
ま。と。志。す。と。い。は。る。極。と。ま。け。ば。經。聖。の。子。と。傳。ひ。つ。く。は  
社。系。と。す。て。ま。ぐ。に。け。い。ま。さ。な。れ。た。常。て。い。の。も。で。法。の。り。系。が  
を。ま。ま。と。志。の。人。と。て。進。ま。さ。と。見。せ。け。た。せ。い。と。進。ま。さ。し。ら。い。









大息はいでをゆり見れくも君の直徳ア下向は西遊して大徳  
遊利に出合けり合て徳を多味に不徳力なくも君乃ち徳成  
むいさくれ。そをあらぐもま海はとちく病にてあげゆりしを相あひ  
まろふまにね述べれば徳登つて徳始みなく無徳は病りゆれ果て  
かひせしぐらりヨひは徳雨のほあげきつむあつあつ。又遊利と  
ひいごふしと遊で育つらういふ徳も。おのく金徳すらく  
をりふ(そ実口へ)ねまあよとつ声に。畜養の侍ごあこ世と  
立われびやうくうもはりば某ハ畜る徳登つて徳の徳系平三  
京府とヤ老今日(お)あつる徳成めて不徳に足すしけし子。  
直乳母とさうき人の切ころされ兼に成て足し死骸のそばに  
い子あき声とあり。いうあつ人の子あぞと。直守ら徳を扱えれば  
平の徳登つての子と。性には身あつ。好子細の好せれば。い子の

直安泰と幸に。是は直徳はと件の子は成後しければ徳登つて  
下に及ぶ死より直子のようゆりあつと。上成下とようごひ  
ごめき。徳系平をあらうき徳始のむりもく。直安へ海り  
ゆとの直徳意の直意畏りなり。まらけぬぎ。是成ゆて  
直安へ海り。直徳に何云す。直菓子直系とく。とてふ  
也。廊下。然と引取た。中ら候びの無徳を徳され。直徳  
直料理とされ。種くは徳走めて徳登つて徳あり。直徳とく。  
系時とく。この徳甚感ト。平家と二の志。直徳と徳系  
直とく。かたれ。直徳は徳の徳不徳の事にて。何ら直徳と承  
事。徳に直運に叶ひ。直加あつ。直徳と。直徳に直徳り  
直徳びの徳ら。かくらう。直徳と。直徳と。直徳と。直徳と。  
直徳と。直徳と。直徳と。直徳と。直徳と。直徳と。直徳と。直徳と。

家に傳へてを秘蔵するといふ。よ家の忠告。高直の規模に比し  
 けり。ある條。一大事。此後。物欲。進討の果表と云ひ。こゝを以て  
 用ひ。之より。も。變ら。び。な。れ。ば。京。時。お。し。つ。ま。き。何  
 より。此。此。場。此。家。の。面。目。世。の。中。へ。今。日。右。左。子。孫。に。比。し。あ。る。  
 け。矢。改。以。て。果。が。家。の。定。級。と。付。ん。と。世。に。結。け。げ。に。さ。る。あ。り。  
 扱。こ。れ。梳。系。が。家。の。級。と。矢。と。づ。に。改。め。右。指。止。に。て。の。軍。は。物。欲。  
 朽。木。の。中。に。隠。ま。ひ。し。て。大。庭。の。下。金。邊。せ。ん。と。り。し。は。ひ。改。  
 梳。系。が。一。云。に。あ。り。て。大。庭。も。是。梳。系。の。い。は。れ。し。り。に。し。て  
 意。し。も。も。來。作。夜。中。運。の。法。よ。き。中。に。何。し。ば。梳。系。が。二。二。の  
 忠。臣。し。し。事。平。家。の。死。沙。流。を。ゆ。大。庭。も。又。梳。系。に。あ。り。て  
 そ。こ。ろ。の。い。は。れ。し。と。い。ひ。し。と。あ。り。の。か。け。お。り。る。大。庭。の。決  
 断。あ。り。の。使。事。し。て。難。波。の。下。い。り。し。と。い。ふ。事。に。源。盛。に

得。し。ま。り。今。日。は。の。玉。海。乃。の。浦。邊。の。云。氏。を。女。の。死。骸。を。果。也。も  
 了。す。り。何。の。若。を。志。れ。ど。切。こ。り。し。こ。ゝ。あ。り。し。所。あ。り。は。あ。り。  
 死。を。も。吟。味。仕。は。不。可。の。切。こ。り。し。と。す。源。盛。に。ま。ま。せ。し。乳。母。也。  
 風。平。も。う。と。東。西。子。の。小。神。斗。も。う。ち。統。れ。る。は。由。源。盛。に。由。え  
 る。ち。あ。り。し。や。う。け。り。ま。れ。の。は。事。也。と。い。は。し。上。の。難。波。相。述。と。い。は  
 経。營。の。事。也。と。い。は。し。く。も。女。の。お。ち。の。乳。母。に。ま。ま。せ。れ。り。と。い。は。し。  
 横。死。せ。し。り。け。り。源。盛。云。所。伝。作。り。し。り。く。源。盛。の。け。り。源。盛。に  
 あり。つ。て。社。事。や。し。下。白。の。盜。賊。に。容。れ。れ。し。社。合。を。夜。や。ね。せ。と  
 して。乳。母。の。切。こ。り。し。と。い。は。し。世。傳。も。亦。に。死。へ。り。し。と。い。は。し。源。盛。に。ま  
 事。合。世。傳。と。い。は。し。け。り。源。盛。に。ま。ま。せ。れ。り。と。い。は。し。源。盛。に。ま  
 あり。扱。い。な。れ。り。と。い。は。し。乳。母。が。後。へ。し。死。に。ま。ま。せ。れ。り。と。い。は。し。源。盛。に。ま  
 之。を。ま。ま。に。あ。り。し。と。い。は。し。源。盛。に。ま。ま。せ。れ。り。と。い。は。し。源。盛。に。ま

系時母も對面す。その時、彼にうきにあり、なる系時母の所  
身に成り、さんと。朝を改めれば、と。言は系時母も、もと、所、家に入魂  
けんと。い、い、う、す、て、を、お、め、の、香、と。又、あ、こ、も、う、た、お、の、酒、あ、り、  
ぬ、る、香、の、研、を、そ、ん、ろ、香、を、直、ま、お、平、家、の、法、運、と。こ、ひ、ご、く、せ、く、  
足、中、の、う、ら、め、さ、な、う、。難、所、の、う、ら、め、さ、な、う、の、法、役、者、研、を、直、ま、  
香、の、ど、く、先、を、勝、と、刀、を、杖、に、結、搦、ま、お、は、老、に、ま、つ、こ、う、い、法、運、ま、  
か、つ、こ、う、い、法、運、ま、お、は、老、に、ま、つ、こ、う、い、法、運、ま、  
ゆ、き、の、梳、系、も、の、金、勝、ま、お、う、ら、め、さ、な、う、の、香、と。興、に、お、め、の、香、と。く、に。  
お、果、を、ま、れ、い、お、君、が、二、方、獲、ま、お、う、ら、め、さ、な、う、の、香、と。信、ぶ、香、の、耳、に、根、が、  
ま、は、し、う、ら、め、さ、な、う、の、酒、を、研、ま、お、う、ら、め、さ、な、う、の、酒、を、研、ま、  
く、く、ま、お、う、ら、め、さ、な、う、の、酒、を、研、ま、お、う、ら、め、さ、な、う、の、酒、を、研、ま、  
め、持、ぬ、こ、と、お、う、ら、め、さ、な、う、の、酒、を、研、ま、お、う、ら、め、さ、な、う、の、酒、を、研、ま、

二之巻終

